本コラム初登場となります総務課の栄原です。昨年、俳優の西田敏行さんが帰らぬ人となりました。釣りバカ日誌、大河ドラマなど味のある温かい演技、人懐っこい笑顔が印象的で幅広い役柄を演じた役者さんでしたね。西田さんの故郷は福島県。生前、東日本大震災で被災した故郷の復興支援に尽力されたと聞きます。3・11。もうすぐ祈りの日がきます。

さて、本学では、5月に開催される「世界バラ会議福山大会2025」に向け、ばらのまちづくり及びキャンパスの魅力向上を図るため、公益財団法人福山通運小丸環境財団様から寄贈いただいた、ばら苗木の植樹式を1月7日に行いました。苗木は、戦争のない世界を願って命名された「ピース」をはじめ10品種。5月の世界バラ会議開催時には美しい花が咲く見込みですので、本学にお越しの際は、ぜひご覧ください。

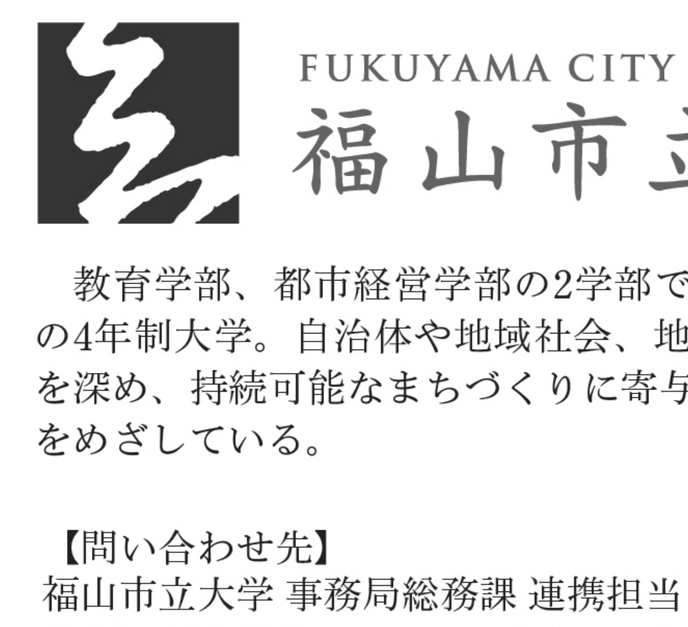
こうしたばらのまちづくりに取り組む中で、「ローズマインド」（思いやり、優しさ、助け合いの心）という言葉に触れる機会があります。「ローズマインド」には、平和・愛情などさまざまな思いが込められており、東日本大震災をはじめ被災地支援活動を行う際の合言葉としても使われています。今年は西田さんの笑顔を思い浮かべながら、1日も早い復興を祈りたいと思います。

●地域連携セミナーレポート

こんにちは！地域連携コーディネータの安藤です。阪神・淡路大震災から30年の今年、①地元企業が開発したシュラフを使って、②本屋に泊まり、③防災意識を高めようというイベントを開催しました。

はじまりは福山市のふとんメーカー、イシケン株式会社様と大学との出会いでした。企業訪問をしたり、来学いただいたりしながらこれまで「何かご一緒できないか」と関わりしろを探ってきました。さらに株式会社啓文社様と本学は、2024年9月に包括的連携協力協定を締結しております。着たまま眠れる「ZUBORAシュラフ」をイシケン様より、本屋という特別な場所を啓文社様にそれぞれご提供いただき、今回のイベントが実現しました。

当日から翌朝にかけ、イシケン様のシュラフ紹介、都市経営学部の宮前良平先生による防災ミニ講座、福山市立大学附属図書館からの選書案内、「お湯が使えない環境」を想定したカップラーメン作り、啓文社様によるコーヒーのドリップ講座などさまざまなプログラムを用意し、最後の感想発表ではさながらビブリオバトルのような展開が生まれました。



このイベントに参加してくれたのは、教育学部、都市経営学部の1～3年生10名の学生です。「デジタルデトックスができてよかった」「イベント中に読んだ本が本当に本当におもしろかった！」「自分が持っている寝袋より軽くて温かくてびっくりした」「非日常での睡眠の難しさや、読書の楽しみに気付けた」など、学部と学年を越えた交流を楽しんでくれました。

FUKUYAMA CITY UNIVERSITY
福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

【問い合わせ先】
福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112　✉soumu@fcu.ac.jp

研究シーズ集